

平成25年 3月

芦立典子 学位論文審査要旨

主 査 片 岡 英 幸
副主査 萩 野 浩
同 吉 岡 伸 一

主論文

2型糖尿病及び境界型における筋肉量と筋力の検討

(著者：芦立典子、池田匡、吉岡伸一)

平成25年 米子医学雑誌 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、境界型の時期から筋肉量や筋力に何らかの変化が生じているのか実態を調査し、検討したものである。健常者、境界型の者、2型糖尿病患者を対象に、上下肢の筋肉量および筋力を測定した結果、男性、女性ともに、2型糖尿病だけでなく、境界型においても、上下肢の筋肉量や筋力が低下していることを明らかにした。境界型の段階で既に筋力の低下がみられ、それが糖尿病の発症に関連している可能性が示唆された。本論文の内容は、糖尿病の発症予防に向けて、効果的な筋力トレーニングの開発の有用性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。